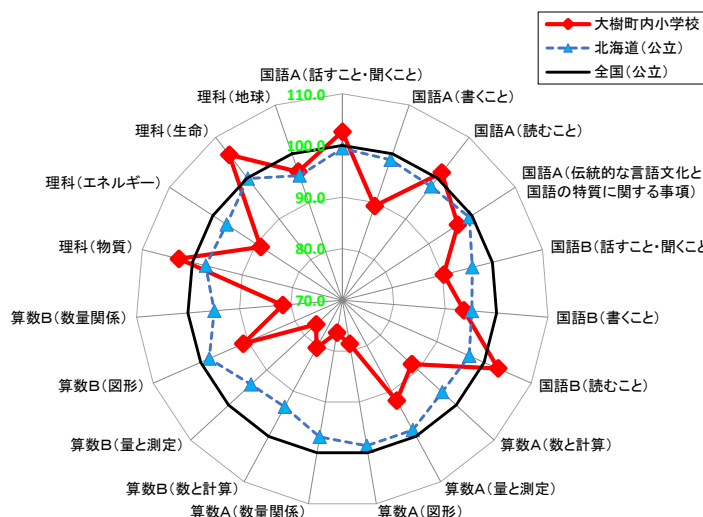


■大樹町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:44人)

【教科全体の状況】

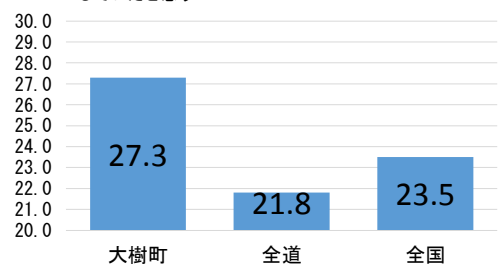
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

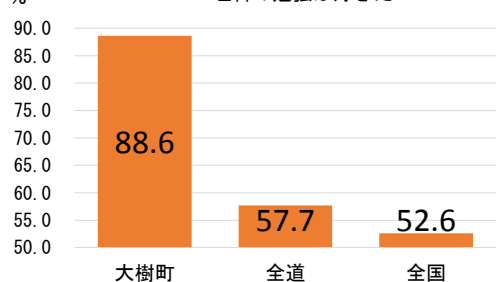


【児童質問紙調査】

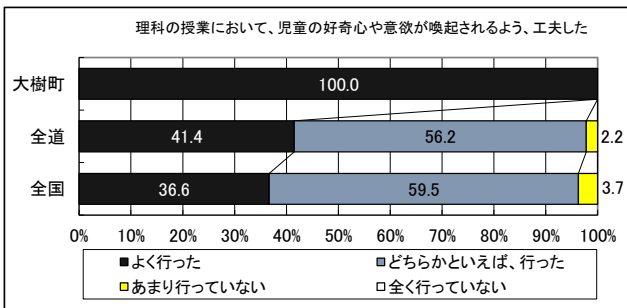
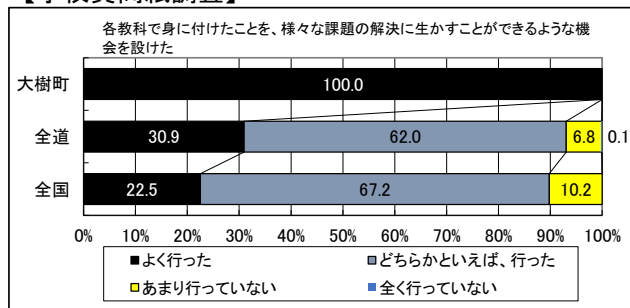
% 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う



% 理科の勉強は好きだ



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「生命」で全国を上回っている。	○ 各教科で身に付けたことを様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設け、指導を充実した結果、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した児童が増え、国語Aの「話すこと・聞くこと」「読むこと」、Bの「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の勉強は好きだ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 理科の授業において、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫した結果、理科の勉強は好きだと回答した児童が増え、理科の「物質」「生命」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。 ○ 理科の授業において、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫した。	

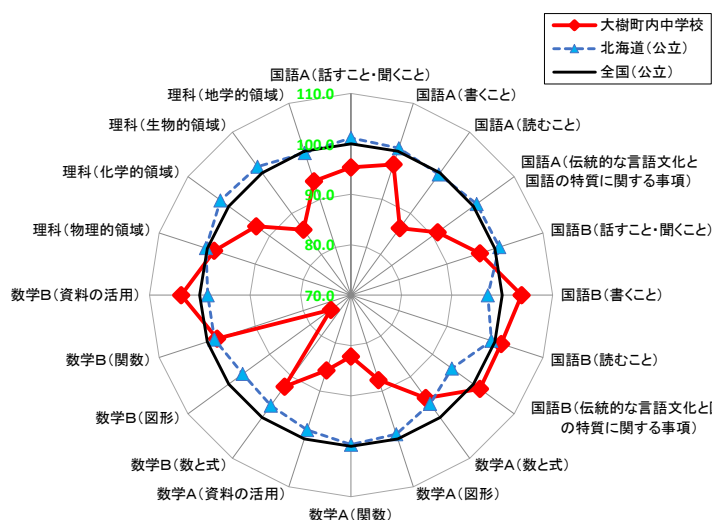
【大樹町の学力向上策】

- ◎ 加配教員の有効活用、チーム・ティーチングや習熟度別・少人数指導、補充学習の実施による個に応じた指導の充実
- ◎ 普段の「わかる楽しい力の付く授業」の積み上げによる学習意欲の向上と基礎的・基本的な学力の確実な定着
- ◎ 児童の学習意欲を喚起させ、主体的に課題解決に取り組み、できるまでやりきらせる授業づくり・学級づくり
- ◎ 「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校としての使命の再確認と取組の改善・充実

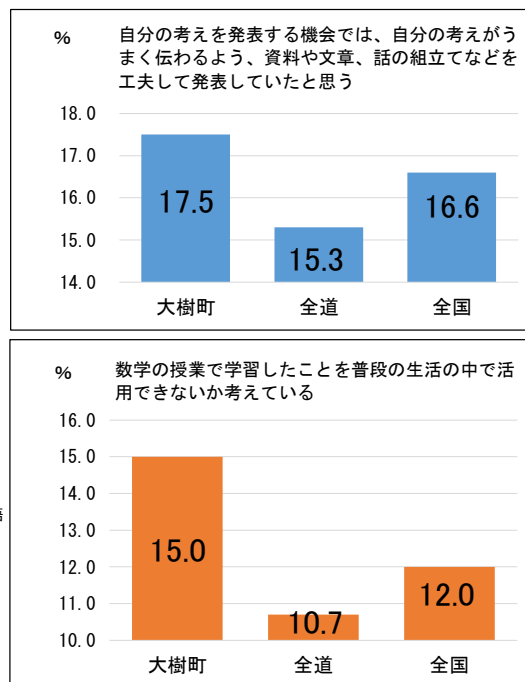
■大樹町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:40人)

【教科全体の状況】

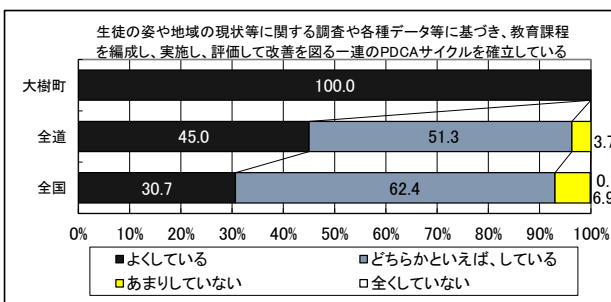
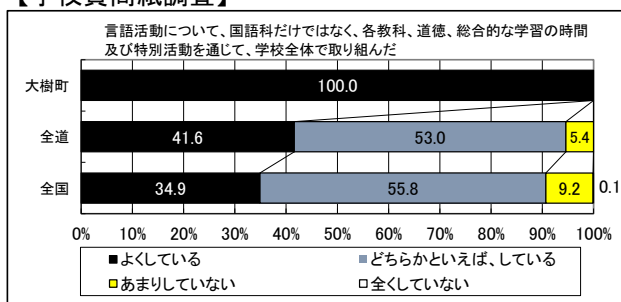
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだ。
生徒質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだ。 ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだ結果、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒の割合が増え、国語Bの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。 ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立し、指導を充実した結果、数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていると回答した生徒が増え、数学Bの「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。

【大樹町の学力向上策】

- ◎ 学校力向上の取組の指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」の成果の普及・啓発
- ◎ 校内研修等の実施により、教職員の資質向上を図る取組の充実
- ◎ 加配教員の有効活用、チーム・ティーチングや習熟度別指導の実施による基礎的な学力の定着
- ◎ 「自己管理手帳」を用いた家庭学習の計画と実施状況について全校体制で指導するシステム
- ◎ 定期テスト前等に全教職員による「放課後学習」の実施